

# さくぎ町民だより



発行 (一社) 作木町自治連合会

三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ

TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010

メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



ホームページQR

## 4月号

## まちづくりに関する町民アンケート 「市交付金選択事業 「定住・交流推進事業」

昨年11月に実施した町民アンケートの結果について、高校生以上の回答をもとに「作木町への移住、定住」について報告します。

### ○「あなたの身近にUターンをされそうな方がいますか」について

53.7%の人が「いない」、38.2%の人が「わからない」と答え、「いる」と答えた人はわずか3.8%でした。「いない」「わからない」を合わせて91.9%となり、回答した人の約9割が身近にUターン者などがいないと答え、近親者など身近な人のUターンはあまり期待できないことがうかがえます。

### ○「子どもさんの将来の住む場所」について

148人から、「実家もしくはその近くに」「理想の居住地に」「子どもの希望する場所や現居住地」「希望なし」「わからない」など様々な回答がありました。回答を見ると、「実家」の作木を希望する回答はあるものの、「子どもの希望する場所や子どもが住みやすい場所」などを上げる回答が比較的多くあることから、将来、子どもの作木へのUターンについては期待できにくい状況にあることがうかがえます。

### ○「身近に空き家バンク登録をされようとしている方はいますか」について

44.8%の人が「いない」、47.3%が「わからない」と答え、「いる」と答えた人はわずか3.4%でした。「いない」「わからない」を合わせて92.1%となり、回答した人の約9割が身近には空き家を手放そうとしているような人がいない又は知らないと答え、普段の近所づきあいなど身近な会話の中では「空き家の将来」などの情報交換などはあまりされていないことがうかがえます。

### ○「将来、自宅が空き家になったらどうするか」について

249人から自由意見による回答があり、「子どもなど後継者へ任せる」「譲る」「解体する」「検討している」「そのままにしておく」「わからない」「考えていない」という様々な回答がありました。回答を見ると、「後継者などへ任せる」「譲る」「解体」など自宅の家屋の将来についてすでに決めているという回答がある一方で、「検討中」や「近親者などと相談中」として、後継の管理者が決まれば「空き家」の解消につながる回答もありました。その一方で、「そのままにしておく」「わからない」「考えていない」などと将来「空き家」の発生の可能性が懸念される状況もうかがえます。

また、今後の空き家の発生防止対策として、家の相続やそれに伴う自宅の整理などに関する勉強会などの必要性もうかがえます。このようなことから、町外からの移住や定住への期待、自宅家屋の将来について課題があることがわかりました。



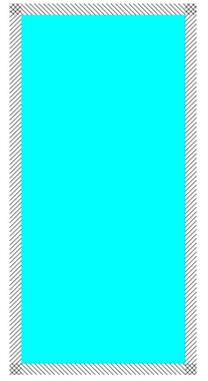
作木小学校と作木中学校  
に入学された児童・生徒の  
皆さんです。  
これから新たな学校生活  
で元気に活躍してください。



作木町の青色防犯パトロー  
ルは、児童生徒から高齢者  
まで安全安心に暮らせるま  
ちづくりをめざして、毎週  
1回夕方（12月～2月は中  
止）、青色回転灯を点灯し  
た車両で町内を巡回する活  
動をボランティアで続けら  
れています。

3月には打ち合わせ会が  
行われ、一年の振り返りや  
来年度の当番日などの確認  
を行い、最後に作木駐在所  
の湯汲巡査部長から最近の  
市内の犯罪件数や傾向につ  
いての話の聞きましした。

こうした巡回パトロール



は、町内の犯罪の抑止につ  
ながっています。会員は、  
現在15名ですが、今回、2  
名の方が引退されます。長  
年の活動のご苦労に敬意と  
感謝を表します。一方、新  
たに2名の方が加入されま  
した。これからの活動に期  
待しています。

また、青色防犯パトロー  
ル（通称・青パト）では、  
巡回パトロール活動に参加  
していただける会員を募集  
しています。

お問い合わせは、自治連  
（電話55-2115）までお願いし  
ます。

**町内一斉清掃  
河川清掃実施**

**公衆衛生推進協議会**

4月7日（日）には地域  
の清掃と河川清掃にご協力  
をいただきありがとうございます。

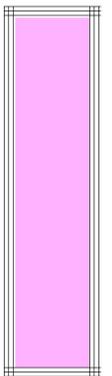
今年も、民家の無い場所  
に捨てられたゴミが目立ち  
ました。また、河川の近く  
にもゴミがあり、地域の皆  
さんのご協力によりきれい  
になりました。



北部区の河川清掃



3月9日（土）25名の参  
加者とスタッフが、約8km  
のコースをウォーキングし  
ました。



桜も満開を迎え段々と暖  
かく成り、忙しい時季にも  
なってきました。

大津区では、令和6年度  
も昨年度と変わらず出来る  
事はやって行きたいと思っ  
てはいますが、中々今まで  
と同じ様にと言う事も段々  
難しくなってきました。

こうした中ではあります  
が、役員、企画部員と共に  
色々工夫など話し合いをし  
ながら今年も行事をやって  
行きたいと思えます。

（島田 潤）



峠上区

（横山 善雄）

新年に区民一同が集まり、  
昔からの習わしのとんどを  
1月7日（日）に実施しま  
した。

今年は、元日早々に能登  
地震があり、災害の恐ろし  
さと備えの大切さを感じた  
ことから、とんどの実施に  
合わせて、災害時を想定し  
た「炊き出し訓練」を行  
いました。この訓練は、作木  
町自主防災会支部研修で行  
いました。

訓練では豚汁等の準備な  
どを住民全員の協力で実  
施することができ、また地  
区住民がコミュニケーション  
を図ることで、安否確認  
の方法等についても確認す  
ることができ、有意義なも  
のとなりました。

**峠上区**

# 自治連からのお知らせ

3月11日、作木中学校2年生が町内めぐりをしました。この取り組みは、作木町自治連合会が進めている事業で「作木の魅力を学生と一緒に考える事業」の一環で行われました。

当日は、「めんがめ」にある作木郷土資料館をはじめ、満開の「柳原の梅林」や森山西の「摺滝化石植物群産地」、岡三瀬の「殿敷」を見学し、上作木の「福原城跡」などをまわり、約3時間をかけ町内をめぐりました。また、途中の資料館や道中での各施設等の案内役は自治連の役員が行いました。

特に郷土資料館では、生徒たちは、昔の作木の暮らしぶりを伝える貴重な生活用具や民具を見ながら、蚕糸の糸をつむぐ道具などを実際に動かしてみたり、蚊帳に入る体験をするなど、今回の町内めぐりで作木の知らないところを知ることが

でき、生徒たちはとても満足そうでした。



町内めぐり

3月14日、作木中学校で作木町自治連合会主催による「まちづくりを考えるワークショップ」を開催しました。ワークショップでは、総合的な学習の時間を利用して、2年生4人と、自治連役員や職員、集落支援員など大人5人が2チームに分かれ、「作木のまちづくり」をテーマに行いました。まず「作木の魅力」を3つ選

び出し、中学生チームからは、「神楽」「豊かな自然」「いろいろな歴史」が、大人チームからは、「江の川」「常清滝」「神楽」が上がった。次に、出された魅力について、未来に残していくために自分たちができること、逆に大人や子どもたちにしてもらいたいことは何かを考えていきました。

中学生チームは、自分たちのできることをして、「江の川」の環境保全や川遊び、「常清滝」の散策、「神楽団」への入団、また、これらに関連するSNSでの発信を上げ、大人たちへは、これら観光地へのごみ箱や看板の設置、遊歩道の整備、SNSやテレビでの情報発信を上げました。一方の大人チームは、自分たちのできることをして、「神楽」では、神楽大会の実施や学習発表会の全町民応援、「豊かな自然」では、カヌー公園の継続、休耕田活用、川の観光活用、「歴史」では、資料館の維持や町内めぐりなど上げ、子どもたちへは、神楽の継承、自然を楽しむ、鮎、梨などの商品開発、歴史の体験学習・伝承などを上げました。

今回のワークショップで、中学生からは、ふるさとに目を向ける良いきっかけとなり、これからも地域学習を進めていきたいとの感想があり、自治連も、中学生と一緒にまちづくりを考えたいことができ、若い世代の発想にふれ良い刺激となるなど、とても有意義な機会となりました。



ワークショップ

## 作木ふれあい公園 スカイドーム利用中止

作木ふれあい公園のスカイドームは屋根の修繕のため、4月から当面の間、利用が中止となります。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。なお、グラウンドなど屋外の利用はできます。

今年度の常会文書は、次の日程で常会長にお届けします。なお、都合により日程を変更する場合がありますのでご了承ください。常会文書は毎月16日までに町内の各世帯に届けられるよう、早めの配付をよろしくお願いいたします

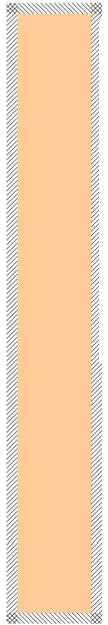
令和6年	11月12日(火)
5月13日(月)	12月12日(木)
6月12日(水)	令和7年
7月12日(金)	1月10日(金)
8月13日(火)	2月12日(水)
9月12日(木)	3月12日(水)
10月11日(金)	4月11日(金)

5月12日発行は次回の町民だよりは



この度、作木小学校4年生の佐伯香奈さんがブツポウソウをテーマに描いた絵本が、「創作童話・絵本・デジタル絵本コンテスト」（幼年教育・子育て支援推進機構主催）の「創作絵本部门」でみごと「内閣府特別担当大臣賞」を受賞しました。

受賞した絵本「きみをまつてる」は、11枚の画用紙に、ブツポウソウが作木の豊かな自然の中で懸命に子育てする様子、それを見守る作木小学校の子供たちの姿がいきいきとまた色鮮やかに描かれています。さらに、夏に作木を旅立ち南方へたどり着いたブツポウソウは、



春になり再び作木に帰ってきます。長い旅を終えて戻ってきたブツポウソウは作木小学校の子供たちが笑顔で温かく迎えるという物語は、愛情にあふれとても感動的な作品です。また、この受賞に、ブツポウソウの観察や保護活動が続けられてきた地元の「めんがめ俱樂部」の皆さんも喜びはひとしおです。

この絵本は、現在、作木図書館で縮小版の絵本を読むことができます。ぜひご覧ください。

### 全イベントのお知らせ

○文化財指定神楽団さくぎ共演大会

6月9日（日）

くわしい内容は、5月の常会文書でお知らせします

○さくぎふるさとまつり

10月20日（日）



### 皆様ありがとうございました。作木スポーツ少年団

さくぎスポーツ少年団サッカー部は団員の減少に伴い、令和6年3月末をもって解散いたしました。1991年にスポーツ少年団を結成して以来、長きにわたり地域の皆様方には並々ならぬご厚志を賜り、厚く御礼申し上げます。また2019年に「三江線」のカラーをイメージしたユニフォームを制作した際には、過分なるご寄付をいただきました。重ねて御礼申し上げます。今後子ども達は活躍の場を変えサッカーを続けていきますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

さくぎスポーツ少年団  
サッカー部一同

### 作木消防から

「火災が発生しやすい季節です！」

この季節は空気が乾燥し、風も強く全国的に火災が発生しやすい気象状況が続きます。

備北消防管内において、枯れ草の焼却など、屋外で火を取り扱うことが原因の火災が発生しています。

屋外で火を取り扱う際は、乾燥時や強風時を避け、消火用具を準備し、完全に火が消えたことが確認できるまで、その場を離れないようにしましょう。

お出かけ前とおやすみ前には火の元の確認をしましょう。

火災・救急の件数

3月 火災0件・救急10件

◎火災と救急のときは119番

三次消防署作木出張所

TEL 55-3109



### 三次の住まいの相談室 しんわホーム

リフォーム・新築・増築

土地・建物の賃貸売買

給排水工事・電気設備工事

宅地造成・維持修繕

フリーダイヤル 0120-344-130

定休日 日曜日

営業時間 9:00 ~ 18:00

